

## 船舶事故調査報告書

平成24年4月12日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成23年7月27日 20時40分ごろ～28日 06時00分ごろの間）
発生場所	不明（兵庫県明石市明石港～兵庫県淡路市野島 <sup>ひまのうら</sup> 墓 浦の海岸の間）
事故調査の経過	平成23年7月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>あかし</sup> 明石丸 4.99トン HG3-25355（漁船登録番号）、個人所有 11.05m (Lr) × 2.79m × 0.74m、FRP ディーゼル機関、48kW、昭和53年12月18日
乗組員等に関する情報	船長 男性 60歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年5月31日 免許証交付日 平成23年8月9日 (平成28年11月24日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	キール及びプロペラ損傷
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、小型底びき網漁を行うため、平成23年7月27日20時40分ごろ、明石港を出港し、播磨灘西部の漁場に向かった。 本船は、翌28日06時00分ごろ、機関を中立運転させ、底びき網を巻き揚げ途中の状態では野島墓浦の海岸に座礁していたところ、付近住民が発見して警察に通報した。 船長は、07時45分ごろ、海上保安庁の潜水士により、本船船尾から引き出された底びき網の中で発見されたが、死亡が確認され、死因は溺死と検案された。
気象・海象	気象（明石地域気象観測所）： 7月27日 22：00 天気 晴れ、風向 北北西、風速 1.0m/s 23：00 天気 晴れ、風向 西南西、風速 1.2m/s 24：00 天気 晴れ、風向 東、風速 2.3m/s 7月28日 01：00 天気 晴れ、風向 西、風速 2.2m/s 02：00 天気 晴れ、風向 南南東、風速 1.2m/s

	<p>03:00 天気 晴れ、風向 南、風速 0.6m/s</p> <p>04:00 天気 晴れ、風向 南、風速 2.3m/s</p> <p>05:00 天気 晴れ、風向 南、風速 0.7m/s</p> <p>06:00 天気 晴れ、風向 南西、風速 1.3m/s</p>								
その他の事項	<p>救命胴衣は、ウエストポーチ型の自動及び手動膨張方式であり、底びき網の中において、膨張してバックルがセットされた状態で発見された。</p> <p>船長は、ふだん、救命胴衣を着用していた。</p> <p>本船には、顕著な衝突痕等の損傷はなかった。</p>								
分析	<table border="1"> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td> <p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、27日20時40分ごろ小型底びき網漁のために明石港を出港後、28日06時00分ごろ野島墓浦の海岸に無人の状態です座礁していたところを発見されたことから、この間において、船長が、落水したものと考えられる。</p> <p>船長は、底びき網の中で発見されたこと、機関が中立運転状態であったこと、及び底びき網が巻き揚げ途中であったことから、播磨灘西部の漁場において、底びき網の巻き揚げ作業中に落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> </td> </tr> </table>	乗組員等の関与	不明	船体・機関等の関与	不明	気象・海象の関与	不明	判明した事項の解析	<p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、27日20時40分ごろ小型底びき網漁のために明石港を出港後、28日06時00分ごろ野島墓浦の海岸に無人の状態です座礁していたところを発見されたことから、この間において、船長が、落水したものと考えられる。</p> <p>船長は、底びき網の中で発見されたこと、機関が中立運転状態であったこと、及び底びき網が巻き揚げ途中であったことから、播磨灘西部の漁場において、底びき網の巻き揚げ作業中に落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
乗組員等の関与	不明								
船体・機関等の関与	不明								
気象・海象の関与	不明								
判明した事項の解析	<p>船長は、溺死した。</p> <p>本船は、27日20時40分ごろ小型底びき網漁のために明石港を出港後、28日06時00分ごろ野島墓浦の海岸に無人の状態です座礁していたところを発見されたことから、この間において、船長が、落水したものと考えられる。</p> <p>船長は、底びき網の中で発見されたこと、機関が中立運転状態であったこと、及び底びき網が巻き揚げ途中であったことから、播磨灘西部の漁場において、底びき網の巻き揚げ作業中に落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>								
原因	<p>本事故は、夜間、本船が播磨灘西部の漁場において底びき網の巻き揚げ作業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>								
参考	<p>船長の所属していた漁業協同組合は、本事故などの連続する海中転落事故を踏まえ、組合員に対し、救命胴衣の着用を周知徹底した。</p>								